

しのだ哲弥 ちば県政報告

令和5年 冬号



このたび、藤井前議員の後を受けて、県議会議員として押し上げていただき、市議としての経験を活かし、また、皆さまへの報恩感謝の思いを忘れずに全力で邁進してまいります。何卒、よろしくお願いいたします。

◆議会質問◆

12月定例会議会において、県議として初めての議会質問をしました。その一部をご報告いたします。

グリーンスローモビリティについて

Q グリーンスローモビリティの導入を進めて行くために、県はどのように取り組んでいくのか。

A 松戸市で、実証運行の結果を踏まえ、令和4年度から本格運行を開始しているほか、千葉市と四街道市では実証運行が行われている。

グリーンスローモビリティの特性を生かすためには、住民ニーズや道路事情等、地域の実情を把握し対応することが重要であるため、県としては、先行事例を共有する情報交換会の開催などを通じて、住民の円滑な移動のために、導入を検討する市町村を積極的に支援してまいります。

不登校児童生徒支援について

Q 不登校児童生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合、出席扱いとされるよう取り組むべきと考えるがどうか。

A 不登校児童生徒が自宅等で学習した場合、校長が保護者と学校との間の

十分な連携・協力関係などを確認した上で、出席扱いとすることは、不登校児童生徒の努力を認め、学ぶ意欲を高める事にもつながります。

そのため、県教育委員会では、不登校児童生徒が、自宅でICT等を活用して学習した場合などに、学習への取り組みを適切に評価し、可能な限り、指導要録上出席扱いとするよう、市町村教育委員会に通知をしています。引き続き、これらの趣旨が浸透するよう、研修会等において周知徹底を図ってまいります。

Q 不登校児童生徒の保護者への支援をさらに強化すべきと思うがどうか。

A 保護者の方が不安や悩みを抱えたまま、孤立することがないよう、県教育委員会では、これまで、子どもと親のサポートセンターにおいて、個別相談や保護者同志の懇談会を開催するなど、支援に取り組んでまいりましたが、今後は、こうした相談機関の情報などが保護者の方に届くよう、一層の周知を図ってまいります。

また、現在実施している実態調査により、保護者のニーズを的確に捉え、支援の充実について検討してまいります。

要望 県として、フリースクールなどでの学習機会に対する負担軽減となる支援を要望します。

東京2025デフリンピックについて

Q 東京2025デフリンピック大会やデフスポーツを県民に広く周知していくべきと考えるがどうか。

A 東京パラリンピックの会場となった本県では、パラスポーツの普及に積極的に取り組んでおり、聴覚障がい者の

スポーツであるデフスポーツについても、東京2025デフリンピック大会の開催を契機として、その周知等を図っていく事は重要であると認識しています。

県では本年9月に開催した「パラスポーツフェスタちば」において、千葉県聴覚障害者協会と連携し、デフリンピックを目指して水泳に取り組む生徒の姿を描いた映画の上映等を行ったところです。

◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆
◆◆◆

このほか、地球温暖化対策に係る県の取り組みや、CO₂の削減効果について、また、私立高校、公立高校の奨学のための給付金の拡充、県有施設の利活用について、県道千葉鎌ヶ谷松戸線松戸市金ヶ作地先の歩道整備や安全対策について質問しました。

◆声をカタチに◆

令和5年4月、松戸運動公園にスケートボード場が完成!

22m×10mの広さで、マニュアルパッド、カーボックス、レールの3種類のセクションを設置しています。

私が市議会議員の時の令和3年9月議会会でスケートボード専用の練習場の整備を訴えていきましたが、こんなにも早く実現したいへんに嬉しいです。



千駄堀口バス停近くの交差点に信号機の設置が実現!

私が小さいころから住んでいる地元千駄堀のバス停近くの交差点に信号機が設置されました。

これも、市議時代の令和3年12月議会質問をし、信号機設置の答弁を引き出すことができた。

これからも、県民のみならずの安全・安心のために全力で取り組んでまいります。



トピックス

12月1日熊谷知事に対して、物価高騰対策と経済再生に向けた要望書を提出しました。政府が示した重点支援地方交付金の活用だけに留まらず、県独自の財源を活用してLPガス料金の負担軽減や、福祉、保健医療機関の訪問系サービスも含めた支援の拡充などを求めました。

